

平成25年度議会報告会 質疑応答概要（平成25年11月12日）

■平成24年度決算審査報告について

○市民意見：なし

■常任委員会所管事務調査報告について

○市民意見：街の整備について

経済建設常任委員会の報告に関して、まちの整備をする中で、明るい街路灯にするのは良いが、最近、ナトリウム灯なのかわからないが、オレンジ色の街灯が多く付けられており、それが信号等の黄色と高さが同じなので見にくいということがある。高さを変える等、運転するのに安全な工夫をしていただきたい。

街路樹は火事の広がりを防ぐ意味で燃えにくい樹を選択することも大事だと思うので検討して欲しい。

◎工藤 経済建設常任委員長

さきほどの報告内容については決定したものではなく、一つの案なので、今ご提言受けたこと含めて今後さらに肉付けしていきたい。

■北海道新幹線にかかわる要望・要請活動報告

○市民意見：新幹線の札幌延伸と新駅・現駅のアクセスについて

新幹線が函館に来ることで話を進めていると思うが、札幌まで延伸計画なので、そうなった時にどのような影響があるのか。寝台列車などを見ると、函館に着く時間がすごく不便な時間だと思う。そういう意味で新幹線が札幌まで延伸された時に、函館を通過する時間はどのようになるのかということ等についても検討していかないと、函館は通過駅として収れんしていく危機感がある。

新函館駅(仮称)と函館駅とのアクセスについてだが、函館が魅力あるまちでなければならない。既存の駅まで人が来るか不安がある。現在でも五稜郭駅で降りて、それぞれ自宅に帰る方が多い、そういう意味で、函館駅まで来てもらうための魅力が必要である。そこら辺十分考えていかないとつくった

はいいが乗らない空の交通網になってはなにもならない。負担の関係も出てくるので、十分委員会の中で先を見据えて計画、政策を考えていただきたい。

◎出村 北海道新幹線新函館駅(仮称)開業に関する調査特別委員長

最初の札幌延伸までにつきましては、15年とも、もっと時間かかるかもわかりませんが、まだそこまでの議論にはなっていない。十分委員会でも議論させていただきたい。おっしゃるとおりだと思う。

■大間原子力発電所にかかわる要望・要請活動報告

○ 市民意見：特別委員会の設置について

せっかく市議会で現地を見られ、大変な事態が起きてしまうということだから、市議会としてもこれを建てさせないためにどのようなことができるのか。それからこれらは、地震だけでなく、原発震災である。地震であれば、対応できることが、放射能の問題でできることもできないことがあったし、自宅に戻ることができたのに放射能の影響で避難しなければならないということで、自治体自体が崩壊していることが、報告だったと思う。そういう意味で、この問題は行政だけでなくもっと市議会の中で進化した形で、いろんな調査をしないといけないのではないかと。

高齢者や病人が移動の中で二桁の範囲で、亡くなられている。そういう意味で避難の問題は、市長は交通網のことで問題があると言ってるが、そういう弱者の問題は大きな問題である。家族の中でそうした方がいると家族そのものが移動できないこともある。いろんな問題が出てくる。そうしたことを含めるとこの問題は、専門の委員会、どういう問題が自治体にあるのか、取り組まなければならないか、何が欠落しているかということがあるので、ぜひ特別委員会を設置し、十分論議して、何が問題なのか、どういうことを法律上含めて国に要請したり、今の防災計画はまったく機能しなかったということが実態だったと思うので、いろんなことを調査し、その問題点を国に要望していくためには特別委員会をつくっていただきたい。

◎道畑議員(司会)

ご意見ということで受け止めさせていただいて、議会の中で今後どのように進めていくが議論させていただきたいと思うのでご理解願う。

◎松宮議員（報告者）

特別委員会つくってはどうかという貴重な意見、今日ほとんど全議員来ており、当然各会派でいろいろ意見交流してやっていくかと思う。割愛したが、数十ページにわたる報告書、実は全議員持っている。議員としては共有の資料になっている。ホームページにも載っている。実際議員が足を運んでみて、福島のを空気を吸って、福島の地面を踏みしめて、実際肌で感じたことは共有しているので、その思いは市民の切実な思いと思っているので、しっかり今日の意見受けとめさせていただく。

■平成24年度決算審査報告について

○市民意見：なし

■常任委員会所管事務調査報告について

○市民意見：松風町のアーケードについて

報告を聞いていて、欠落している部分として、雪国であるということ、ビルに囲まれ、ビル風がおきるということが一つあると思う。雪害を考えると、歩道にヒートを入れるかどうか。また、アーケードがなくなった場合はお店自体風害を直にかぶることになるから大変な状況が予想される。

そのこのところをぜひ考えていただき、吹雪いている中を観光客、市民の方々が歩くというところを想定して、ぜひ良い道路になるよう希望する。

◎工藤 経済建設常任委員長

ご意見受け賜った。その件についても議論させてもらっており、宮崎市も雪は降らないが、陽射しが強く大変だと。また台風が結構多く、強く雨が振るという状況があるようである。函館市も そうだが、店舗が無くなり、虫喰い状態になると、駐車場になったりし、そこから、雨で歩道が濡れたりする。雪と雨の違いはあるが、できればアーケードがあったほうが良いとおっしゃってたのは事実であり、私どもにもそういう考え方があるのは事実である。

しかし、それを維持管理するのは、実は商店街が事業主体としてやっており、逆に言うと、店舗が無くなっていく、その部分を負担する店が少なくなっていく、そして1件当たりの負担がなおさら多くなっていくと。そういう諸々の状況を判断した時には、いろいろな要因はあるにしても、まず撤去に踏みきるざるを得ないということで、宮崎市も、浅草のある台東区のある商店街もそういう決断をしたとのことである。

雪の関係、そういう意味からすると五稜郭はアーケードがないわけで、雪をどのようにしているのか、各店舗でやったり、いろいろあるので1つの課題と捉えながら商店街を主体として取り組んでいかざるをえないので

はないかと思っている。

決定したわけではないので、断言はできないが、アーケードがなくなったとしても、商店街らしい雰囲気なり、そういう様を見せるためには、カラー舗装や緑化、架線の地中化とか、モニュメント、これらの商店街の特徴的なものを出す等、今もそれぞれ工夫しながらやっているようなので、我々として受けとめ、計画の中に、取り込んでいきたい。

○市民意見：街づくりの意見徴収について

これからこのまちで暮らしていく次世代の子どもたちに、社会科の科目の中で、どんな夢を盛り込むかアイデアを募ったり、討議させたり、それから市民が積極的にまちをどうしたいのかアンケートを徹底的にとっていく。そういう作業をしてほしい。意見があってもいう場が無い。

◎工藤 経済建設常任委員長

わかりました。

■北海道新幹線にかかわる要望・要請活動報告について

○市民意見：新駅の名称について

新函館駅という名称だが北斗市議会とは話し合い、接触はしているのか。

◎出村 北海道新幹線新函館駅(仮称)開業に関する調査特別委員長

議会としてはやっていない。お互いに言い分を決議しているので、各々の立場を尊重している。ただこの先どのようなようになっていくは。函館市議会は、原則は新函館でいく、これははっきりしているの、その線にそって、委員間もそういう気持ちを持っている。

○市民意見：新駅の名称について

北斗市に駅があるのだから、向こうが主張してきた場合、こちらが決議をしても向こうに決まるのではないか。

◎出村 北海道新幹線新函館駅(仮称)開業に関する調査特別委員長

長い経緯があり、昭和の時代からずっと継続している。北海道に新幹線をと、函館までトンネルをくぐらせようと、北海道も同じ気持ちで。それ

から札幌延伸の話が出てきたが、当然、私どもは函館駅に新幹線が入ってくるものだと想定していたが、今は変わって旧渡島大野に駅できることになっている。

しかし長年の経緯からいって、新函館が望ましいと、新函館というのも一つのブランドであり、北斗市の住民もそうですし、議員の方でもそういうお考えの方もいらっしゃるということだが、議決は向こうは向こうでしており、そこには我々は介入できない。

○市民意見：新駅の名称について

駅名は北海道が決めるのか。

◎出村 北海道新幹線新函館駅(仮称)開業に関する調査特別委員長

J Rである。地元の自治体の意向を尊重すると言っているので、十二分に配慮されるのではないかという期待感をもっている。

■大間原子力発電所にかかわる要望・要請活動報告について

○市民意見：特別委員会の設置について

改めて原発事故が起こったら大変なことになる。ぜひ市長、市議会で引き続き反対ということで、努力を続けていただければと思う。

それで裁判をやるという報道がなされており、来年になるのかと思うが、私も市民のほうで裁判を続けており、2010年の12月に裁判を始めて、今11回目になっている。いろいろな問題点を指摘しているが、電源開発はのりくらりとほとんど対応していない状況だが、何としても裁判で勝ちたいと思っているが、そのためには世論を盛り上げる必要がある。事故が起これば函館市民、あるいはフルMOXなので4倍の面積に被害が広がるので、道南全体、渡島半島全体37万人が被害を被って、生きている間には戻って来れないかもしれないということもあるので、ぜひ世論を盛り上げるような動きをしていただければと思う。

それに関連し、原発依存からの脱却ということも出されているので、函館市の場合、恵山の風力発電もあるし、公共施設での太陽光発電もやられてる、潮流の研究もされているということで、そういうことをどんどん進めていって、できるだけ再生可能エネルギーのほうに進めていただきたい。

そういう諸々をやっていくために特別委員会をつくっていただき、その

中で裁判について、世論の喚起、あるいは再生可能エネルギーといったものを議論していただくというように、場がぜひ必要でないかなと思うので、よろしくお願ひしたい。

◎道畑議員（司会）

実は、特別委員会設置の話は 12 日の報告会するときにもご意見頂戴した。議会として大間原発にどのように取り組んでいくかということも含めて、今おっしゃられた部分も合わせて、これから議会の中で少し検討を深めてまいりたい。

■その他

○市民意見：函館アリーナの補正予算について

実はアリーナこれ莫大な金額でやるということになっており、私は反対であるが、井上市長、西尾市長、工藤市長と、途中から合併特例債でという話になってきたが、はじめは合併特例債の話はなかった。この経過について聞きたい。

また、今後人口が減っていき、増える要素もない。今函館の経済力は疲弊しており、犯罪も殺人から強盗まで、全部お金が絡んでおり、しょっちゅうコンビニ強盗が新聞に出ている。それなのに今回新たに 5 億の補正である。これを市民にどう説明するのか、合併特例債でやるのか。市の持ち出しではないのか。また、これ常任委員会でやったのだから、反対意見は出なかったのか。

◎齊藤 総務常任委員長

アリーナの件、今回所管事務調査の中で、公共施設と合併建設計画ということで、報告させていただいており、詳しい資料については持ち合わせていないので、概略について少しお話させていただく。

増額になった件については、9 月議会で委員会審査を行っている。

当初予定していた入札が不調に終わり 2 回目、今こういう公共事業が増え、また震災地復興で専門的な人材が不足している、技術屋さんが不足している、それから単価が相当高騰している。こういうことで 2 回目の入札も不調になっている。市もいろいろ市場調査等もやっているが、基本的には北海道の単価を採用するという基本的な設計内容で、なかなか今の単価

の上昇に役所の設計がついていけないというような状況の中、入札不調というような形になった。そして、再度、再積算というような形の中で、増額になった。そういう状況説明もあり、幸い予定価格の範囲内で工事が提出されたというような内容になっている。

補正部分については、合併特例債の適用になる。合併特例債が、50億くらい、最終的に53億くらいの予定になっており、増えた分は95%の充当率で、元利償還金の7割が補填される。

○市民意見：合併特例債について

俺はある程度理解しているが、一般の人は合併特例債ってなんだって、わからない人たくさんいる。合併特例債何でもできるのでないか、どういうときに使うのか。

◎斉藤 総務常任委員長

いろいろな制約、道の許可も必要で、国や道からの補助金がつく場合、そういう施設についてはある程度優先的につくような状況に今あるようである。例えば道路とかにはなかなか付かないようである。俗に言う箱物については、特例債が付くということで伺っている。

○市民意見：合併特例債について

そうすると、今回この5億は合併特例債で追加ということだが、それでまた追加ということになれば、これはまたできるのか。

◎斉藤 総務常任委員長

本体工事と設備、その附帯工事も全部入札が終わっており、概ねあと残るのは、現体育館の解体工事が残るのかなと思っている。

例えば、万が一このあと、ふえたとしても、その分は特例債の適用になる。

○市民意見：合併特例債について

話を聞いていて、単純に、特例債は債務であって借金なのか。返済をしなければならぬお金なのか。

◎齊藤 総務常任委員長

そうである。一応借金の一部で、起債ということで、合併特例債となっている。それで、7割が国から交付税の中に一部参入されるので、実質、だいたい25億から30億くらいが市の一般財源の持ち出しということになる。

○市民意見：議会報告会について

これは市民のために開くのか、議員のために開くのか。

◎道畑議員(司会)

議会のためというより、市民の方に知らせなければならないということで市民のためにである。

○市民意見：議会報告会について

市民のためにやるのに、市民これしか集まらない。やり方、表現の仕方が悪いと思う。市民にインパクトを与えるような表現にしたほうがいい。議会報告会って、みんな投票して、この議員は大丈夫だよって、信頼して議会に送っているのだから、議会報告なんてみんな任せて一任である。突発的なものがあれば、それは必要があるが、みんな了解している、了である。市民が何を求めているのか、議会と議員と市民と非常に乖離している。それが身近になるというのは、選挙近くになれば近寄ってくる、それが実態である。

◎道畑議員(司会)

おっしゃることはわかった。よりよい開催になっていくよう、当然今回やったことは、やりっぱなしでなくて検証もするし、反省もして、次に生かしていくようにするので、今言われたことも受けとめ、議論する。

○市民意見：議会報告会について

去年やっても馬耳東風である。何もやってない。そんなことないといっても、そうなんだ。

◎道畑議員(司会)

お言葉を返すようだが、より多くの方に知ってもらいたいということで、

いろいろなところにチラシをまきに行き、お願いにも行った。来ていただけるよう努力はさせてもらってるつもりであるので、ご理解いただきたい。

○市民意見：町会としての要望について

中道第2町会で取り組み、議員にお力添えいただきたいことが2点ある。

1点目は、私道の簡易舗装整備採択基準の見直しをお願いしたい。町会の取り組みを若干申し上げる。23年度に町会の実態調査を行い、私道の舗装していない道路が9箇所あった。全て函館市土木部の整備採択基準から外れる道路であり、外れる大きな要因は、私道の排水溝、または浸透柵のない私道は簡易舗装の対象にしていないということである。この現在の基準を見直して何とかできるようなお力添えをいただきたいということが1点である。地域住民の声をお話しするが、当時、亀田町役場に建築確認申請を出したところ家を建てていいと、業者はそのうちにここ舗装になるからと言ったと。だから私はその土地を買い家を建てた。あれから40年、今も砂利道で、私の生きてるうちに簡易舗装できるのだろうかという率直な意見である。これは中道第2町会だけの問題ではなく、旧亀田地域にはかなりこういう状況があるのではないだろうか。函館市は、現在の基準に合うところは、簡易舗装をほとんどしており、基準を変えない限り、もう簡易舗装はしないと云ってるのも同じである。町会では土木部長に昨年7月に陳情を行い、市長にもタウンミーティングを通してお願いをした。回答は、研究させてください、市長はこれは中道第2町会だけの問題でないから実態調査をします。たしか土木部に指示をしたと思うが、実態調査の結果は聞いていない。努力はするが、我々だけでは今のところなかなか見通しが立たない。しかし結構な世帯が、ほこりが出る、そして水溜り、市では砂利は引いてくれるが、砂利を毎年入れるから、路面がずっと高くなっており、そんなところで生活している。その方達は固定資産税を払い、都市計画税も払っているが、恩恵はない。何とか土木部の整備採択基準の見直しをし、排水溝や浸透柵のない私道でも簡易舗装できるような体制をつくっていただきたい。

2点目が、中道・四陵郭道路。昨年12月、中道橋から産業道路、歓喜橋間が開通し、地域住民は大変喜んでいて。ただ心配なのが中道橋と歓喜橋の間に日の出橋というのがあり、交差点が大変危ない。具体的な事例を挙げてお願いするが、80歳代の女性高齢者、車輪のついた買い物袋を押してきて、資料のしるしの付いているとことが危なく、少なくとも押しボタン

式の歩道新設をお願いしたい。町会も警察へ行き、公安委員会に働きかけをしているが、予算が無い、お金が無い、この二言である。確かに自動信号機は大変だが、手押しボタン信号機はどうだろうか。中道橋から日の出橋へは、非常に交通量は少ない。最近ではドンキホーテで若干交通量は多くなったが、それよりも新しい道路のほうが交通量が多い。高齢者は、スピードに対する感覚、距離感に対する判断が大変鈍くなってきており、交通事故にあう可能性が非常に大きい。先日の道新にも、道内で3件の事故があり、高齢者が2名亡くなっている。何とか手押しボタン信号の新設をお願いしたい。

○市民意見：町会の要望に対する意見

私を実現させたことで2点あり、昭和47、48年の頃、障がい重い子どももがいて、湯の川学園から「つしま」の横手を通っていかなければならず、腐り果てた板が渡っていた。それはどんどん腐っていくし、隣近所に聴いたら、家もいたみ始めていると。学園道路へ突き抜けていく道で、「つしま」さんの裏手から、昔の田んぼだったり畑だったときの用水路がずっと素掘りで掘ってあったところである。ここにヒューム管を通してはどうかとなったが、半分は国のほう、半分はまたどっか公のところの2カ所が管理をしており、らちがあかないと。それで議員にも頼んだがだめだったと。私は子どもを守る意気込なので、亀田支所の土木課にかけこみ実情を話したら、その対象の方々を集めてください、そして実情を聞きましょうと。場合によっては実費負担で人間を出し、そこにヒューム管を通るようにしましょうと。そういう話があがり、私は実際にその利益を得る住民の方々に集まっていたいただき、いいよと行ってくださったので、実際にヒューム管通してある。

それから、手押し信号機、中央小学校のところの手押し信号機、議員だった熊坂さんが手を貸してくれ、こういう方法があると。住んでいる近所2、3人集め、捺印してもらい、文面は自分で書くんだよと。それで私は土木部へ行き、距離を測り、そして児童館のこの空き地に椅子置いて朝7時から、子どもが何人通り、老人が通り、車が通り、全部数字を出して、文面に盛り込んで出した。それで実現した。ある日突然、警察から電話が来て、どこに信号つけたらいいんだと。

思いのたけをこめて、自分で文案をつくり、そして実際に行動してください。必ず実現する。

◎道畑議員(司会)

まず、要望の件、この場でできるできないの話にはならないので、ご要望いただいた件、課題、状況にあるということは、受けとめさせていただきます。

○市民意見：議決に対する理由について

議員のルールはよくわからないが、採決する時に、退席する議員がいる。その理由を聞きたい。実は、教員の駐車場有料化、市民のほとんどは反対である。署名もあがり、要望書もあがった。それなのに有料化になった。賛成した議員がいる。賛成の署名や要望はあったのか。もらっていないでしょ、反対は聞いている。賛成した議案、何を根拠に有料にしたのか聞きたい。何が基準で有料にしたのか、後でいいから教えてください。

それでそれよりまだひどい議員がいる。退席した議員だ。これ一番卑怯だと思う。反対か賛成かどっちかに旗をあげなければならない。それが採決の前に退席した。そのために有料化になった。議員は市民のために、奉仕する為に議員になったのではないのか。違うんなら違うとっていただきたい。市民のために、奉仕するために議員になったと、私はそう思っている。違うのか、返答できないでしょ、審議しないで退席するのだから。市民はこの議員は大丈夫だと投票して、議会に送っている。それなのに退席する。賛成した議員よりまだ悪い、卑怯でないのか。退席した理由あったのかしらないが、ぜひお聞きしたい。言えないのではないのか、退席した理由。ここに5人いるはずだ、本会議退席した人。おかしいと思わないか。賛成した人、退席した人は駐車料金払っているのか、払ってないでしょ、投票した人が逆に払うように、それも市民から苦情出ているわけでない。1議員が発議したんだよこれ。皆さん方知らない顔してるが、時間あればこれ積極的にやりたいと思っているが、時間ないから、退席した5人に聞きたいから、僕に電話ください。僕これ鵜呑みにできない、一人ずつ聞きたい。何で退席したか、責任とるのか、それ聞きたい。終わります。

○市民意見：議会報告会について

この会について要望である。できれば各町会小さな問題抱えていると思う。そして時には議員の力も借りるような事例もあるのではないだろうか。最後の10分、実際には20分くらいになったが、もう少し地域や町会の意見を聞く時間を多く設定していただきたい。

◎道畑議員(司会)

今後のやり方、また報告会に限らないお話だと思うので、どんな内容のものができるのか、あるのか、少しこちらも考えてみたいと思うのでご了解いただきたい。